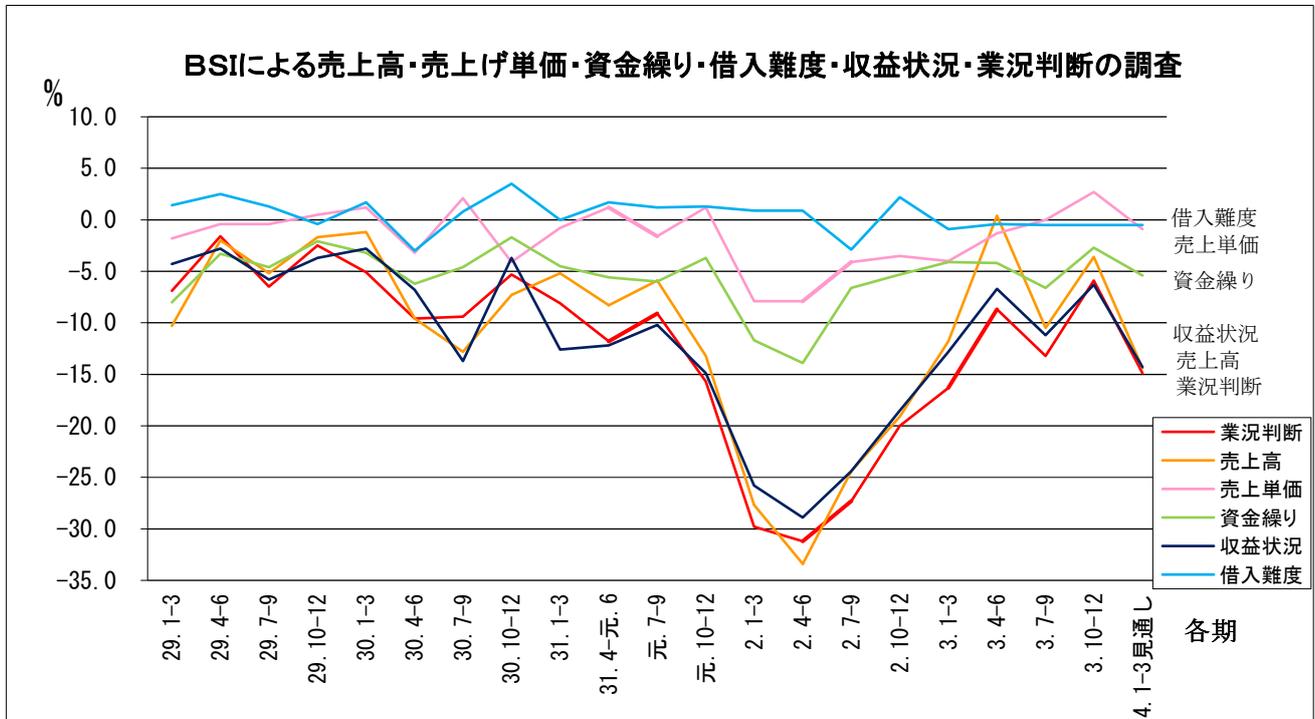


中小企業景況調査結果報告書

令和3年10-12月期(令和4年1-3月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



前年同期比*()内は2020. 10~12月期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	114	-3.6 (-19.1)	2.7 (-3.5)	-2.7 (-5.3)	-0.5 (2.2)	-6.3 (-18.5)	-5.9 (-20.0)
製造業	33	10.6 (-18.6)	3.1 (-8.6)	0.0 (-7.2)	-1.5 (1.4)	3.0 (-12.9)	1.5 (-17.7)
非製造業	81	-9.6 (-19.4)	2.5 (-1.3)	-3.9 (-4.5)	0.0 (2.6)	-10.2 (-20.9)	-9.0 (-21.0)
(建設業)	25	-6.3 (-29.2)	-2.1 (-2.1)	4.2 (-6.3)	2.1 (2.2)	-8.4 (-25.0)	-8.4 (-25.0)
(卸売業)	16	3.1 (-7.9)	12.5 (5.3)	-3.2 (2.6)	0.0 (5.3)	0.0 (-15.8)	-3.1 (-15.8)
(小売業)	22	-27.5 (-20.0)	2.3 (-5.0)	-11.4 (-15.0)	-4.6 (-5.0)	-25.0 (-23.7)	-23.8 (-19.1)
(サービス業)	18	-5.6 (-17.7)	0.0 (-2.9)	-6.3 (3.2)	3.2 (10.0)	-3.0 (-17.7)	3.0 (-23.5)

来期(2022. 1~3期)見通し*()内は前年同期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	114	-14.4 (-25.0)	-0.9 (-8.0)	-5.4 (-13.9)	-0.5 (-1.4)	-14.3 (-21.5)	-14.9 (-25.3)
製造業	33	-13.6 (-19.2)	0.0 (-7.4)	-4.6 (-16.2)	-3.0 (-5.9)	-9.1 (-14.7)	-13.7 (-18.2)
非製造業	81	-14.8 (-27.5)	-1.3 (-8.3)	-5.8 (-12.8)	0.7 (0.7)	-16.5 (-24.4)	-15.4 (-28.2)
(建設業)	25	-20.9 (-25.0)	-8.4 (-4.2)	0.0 (-10.4)	2.1 (4.2)	-20.9 (-22.9)	-22.9 (-25.0)
(卸売業)	16	-6.3 (-21.1)	0.0 (0.0)	-9.4 (-7.9)	0.0 (2.7)	-15.6 (-21.1)	-12.5 (-21.1)
(小売業)	22	-23.8 (-30.0)	6.8 (-20.0)	-11.4 (-20.0)	-2.3 (-5.0)	-22.8 (-21.1)	-19.1 (-31.0)
(サービス業)	18	-2.9 (-35.3)	-2.8 (-9.4)	-3.1 (-13.3)	3.2 (0.0)	-3.0 (-34.4)	-3.0 (-37.5)

*BSI=(上昇・増加-減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)

経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

[前期(2021.7~9)との比較]

今期は全産業で「売上高」「売上単価」「資金繰り」「借入難度」「収益状況」「業況判断」すべてにおいて前期と比較して上昇しました。

「売上高」は全産業で上昇しており、特に「卸売業」で大きく上昇しています。

また、「業況判断」も全産業で上昇しており、特に「卸売業」「サービス業」で大きく上昇しています。

[来期(2022.1~3)の見通し]

来期は全産業で「売上高」「収益状況」「業況判断」が大きく下降する見通しとなっています。

「売上高」「業況判断」は「製造業」「建設業」で大きく下降する見通しとなっており、「収益状況」は「建設業」「卸売業」「小売業」で大きく下降する見通しとなっています。

■直面している経営上の問題点

- 1位:原材料・仕入れ価格上昇(17.88%)
- 2位:売上・受注の減少(17.27%)
- 3位:消費・需要の停滞(12.12%)
- 4位:人手不足(11.82%)
- 5位:経費の増加(7.88%)

■各社からのその他の問題点

- ・経費増加、取引先へは工賃単価の値上げをお願いしている。経費削減は限界なのでインフレが許される世の中になってほしい。(製造業)
- ・原材料(鉄、油、プラスチック類、ゴム、電装品他)が今まで経験したことのない程高騰しています。加えて、非常に部品が入りにくくなっています。(製造業)
- ・引き続き自動車関連の受注が低迷したままである。大手取引先から中国製品価格との比較による大幅なねあがり値下げ要請があり、利益確保に苦慮している。(製造業)
- ・食材(特にカニ)の価格が平年と比べ高値になっており、売上及び利益の減少を招いています。また、オミクロン株の感染拡大による、旅行ムードの沈静化、今後の予約の停滞、キャンセル増が見込まれるため、見通しが立ちません。(サービス業)
- ・中小建設業において、前年比 1.5%以上賃上げを実施した企業に「総合評価落札方式における加点措置」を付与することが、令和3年12月に決定されましたが、先行き不透明な受注環境であり再考願いたい。(建設業)
- ・警備業である当社のニーズにあった専門職が足りない、育たない(サービス業)